夕刊
磐城新聞
六月十四日發行
發行所 磐城新聞社
(日曜祭日翌日休刊)

天氣豫報 小名濱測候所發表
今晩 北東の風曇 小雨模樣
明日 同じ

張家口通信
石橋柴子

(五)

そして車夫もあまり威勢が好くない。時々ひつくり返へるらしく、黒山の様な人だかりの中で交通巡査のやつかいになつてゐるのを見受ける。しかもそれがきまつて日本人だから可笑しい。何時か支人と『日本人は洋車の乘り方が下手なのだらう』と笑つた事がある。

汽車(自動車)ハイヤーは全部自家用で、乘合としての大形バスが動いてゐるたゞバスガ[illegible]愉快で、支那語で云つた後『ツギワクイサツシヨマイデコゼイマトス、オ、リノカタワゴゼイマセンカ』など、妙な節をつけてやるので、どうしても吹出してしまふ。

馬車は警察署に一台、正金銀行に一台あるきりです。え、繁華街に灯がともり、にんくんすゞ支那音樂のリズムに乘つて、合服の姑娘達が發び舗道にステップを踏むタベ、チクング〱と鈴を鳴らして漫々的で乘つて歩く氣持は何とも形容の詞がない。

◎買物

物價は内地に比し幾分高いもの(煙草、手皮類、靴鞄類)をのぞいては二三割安く、七八割位高い。日用品の大部は支那商に造つた日本商品が多く、品物の名前迄が、旗幟丸、遊通膏、老篤目藥、寶樂、獅子牙粉と云つた調子である。

華人商店に掛値はそれが結局値引をするので割合が安い、但し日本人は[illegible]程度が違ふから、引方がないと思つてまあ初めに一寸手が出せなかつた。併し必需品で日本商店以外にないもの例へば下駄足袋(…足袋は華人に歩留人種されるので、夏でも禁じられてゐる)等はどうしても日本人商店で買はざるを得ない。

洋服屋等も華人と日本人では二十圓からのひらきがある。

將來華人商店が日曜めて來ると。日本人商店は未へなければならぬ問題が昨す[illegible]華人商店は言葉が通せぬので少々不便だが何處でもメモと鉛筆を用意しておるので。筆談で用が足せる。又商品を指して『多少錢』と云ふと『コウチイセン』(五十錢)等と簡單な數は日本語で云つて與れる。高いと思へば『多貴、多貴』とねばれば二三割は負けて與れる。

湯本短歌會詠草(八)

即詠題「湯本温泉」

○炭坑近き町にしあればこの宿の庭木はなべて煤にまみれる　高木愛二

○炭掘りて幾年經けんにぎはひしこの町にいでゆ出でずも　同

○みちのくの湯本はあはれ軒さびて荒れてくすみし炭礦の町　結城みち子

○久々に湯本の町に降り立ちて煤けし空をふと仰ぎ見る　吉川きそ子

○一筋に湯本入山宵の灯の光にぬれて鳴く蛙なり　田中賢介

弔高木軍曹、星野上等兵兩勇士

務雲 小野藤平

奉命長征驅虜軍
中華到處擧威分
挺身一死全中節
萬古千秋不滅勳

6月15日

△米國首府をワシントンに移す(一八〇〇)△昌平校を大學と改む(明治二)△山陽線和氣・熊山間で列車顛覆死傷百二十余(昭和一三)

詩

うつとりと霧の中からのぞく月わかれらをすだまた涙を　橋 温子

(196)

南京花火 (十七)

久留[illegible] 作　香川三[illegible] 畫

『なや、やつぱりあの時の[illegible]』

と、聞いてゐて庄太郎が種島と茅江が料亭へはいつて行くうしろ姿を見て、さうではないか?と疑つてみた自分であつたことを彼は、今更に思ひ出してみた。そして、その後、毎日のやうに茅江と顔を合しながら、それを問ふことをはゞかる不躾だと、反省して胸を抑え、砂を嚙むやうな味氣なさを感じてゐたおのれであつたと、振返つてみるのである。

『それでは、あなたは、知つてゐたのですか?』

茅江は、[illegible]

『ハイ。ヒヨツコリ[illegible]会つて、知つてはゐましたが、三分のまさかがありまし、それに、お茅江さまにそんな失禮なこと、一伺へる道理がありません』

『まあ』

ち江の胸は、あつくなつた。庄太郎の情が、ほの〲と体いつぱいを包むのだ。それは、苦しいとまでおもはせた、ちゑ相談を持掛けたことがよかつたと、彼女の心に思はさせる。

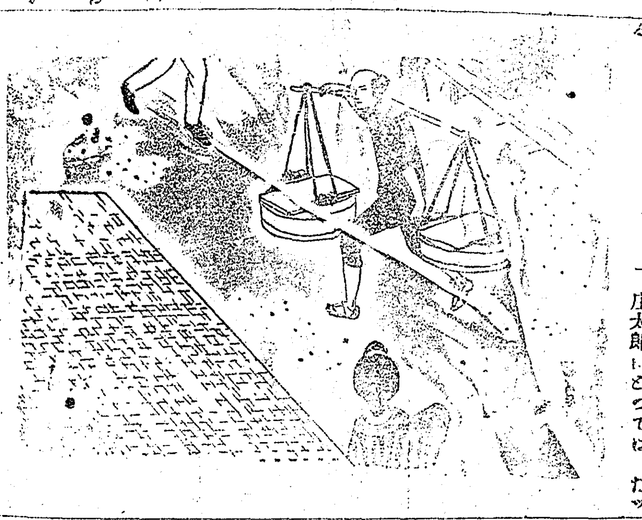
庄太郎は、種島の手紙を一氣に讀み下して、

『畜生ッ』

と、齒嚙みした。

『やつぱり、さうだつたんだ』

と、自分ひとりで合點する。



ち江が、聞き咎めて、

『さうだつたとは?庄太郎さん』

『人に施す情けにしちや、あんまり厚すぎると、あッしは始めッからへんに思つてゐたんです、やつぱり、おち江さまがお綺麗なもんだから……』

『あ、冗談は――』

『冗談ぢやありません』

と、庄太郎は、目をいからして、憤つたやうな口吻である。

『これが、本當でさ。あの種島ッて野郎は、はなッから[illegible]

たまつたもんぢやねえ。おち江さま旦那に話して、斷つてしまひなせえ。きつぱりと、斷つておしまひなせえ』

『ですけれど……』

ち江は、兄の紹介がどんなに種島に心服してゐるかといふことを話した。

『兄どこがお許しになつても、[illegible]』

『しかし――彼奴の情合[illegible]旦那さまにもお話することにしませう、[illegible]、おち江さまとしては、よく默つてをりましてなせね?』

『大丈夫でせうか?』

『御心配には及びません』

庄太郎が、きツと引受けた。

庄太郎にとつては、たツた一つ胸に秘めてゐる心の光明の、ちゑであるその、泥濘女神にひとしい人を、泥の中へ連れ込むやうなことは、見てゐて忍びない。知つてゐながらとにかく、知つた今、默視することは出來ないのだ。一命にかけても、これは阻止てみると彼は、固く心の奥底に頷くのだ。

『ようござんすね。どうぞあッしに任せて置いておくんなさい』

それからも、繰返して念を押して、日ざかりの道へ出た庄太郎の胸わ、墨をのんだやうにごつてゐる。

あゝはいつて置いたが、やさしいおちえさまだか[illegible]——考へると、堪らない。同時に、種島正臣といふ人間が憎くて憎くてならない。

『どうしてくれよう。あいつめ!どうしてくれやう』

庄太郎は、鮮臺の中に尖ぎすました出刃庖丁のあることを、思ひ出した。それで、種島を一刺しに——險惡になつた心が、ヒヤリとする

『まあ、魚屋さん今日は寄つてくれないの!怖い顔をして、素通りして、一體どうしたのだね!』

まで得意先の御内儀に聲をかけられて、庄太郎は、フツ〱われに返つた。

ダイヤ高價買入
平市一丁目二四
澤井

酒トマヅイ おでんの
榮ちやん
平市田町花ノ里
電話三三番

當店獨特
アイスキヤンデー 一錢
アヅキカクテル 一個五錢
お幾等にても御屆けいたします
菓子さん募集
五丁目
吉田屋
キヤンデー部
電話 二二〇番

◎尚武節句ノ
御引物ニハ是非
伊東屋の御進物品ヲ
丈夫で安價に體裁よく
品物豐富に取揃ヘアリマスカラ何卒御來店の程を
特賣期間 十日ヨリ二十日マデ十日間
平市四丁目局前(電呼二一七番)
和洋家具漆器
伊東屋家具店
本店 平市新川町二〇
製作所 平市新川町三三
電呼五〇番

電話增設ノ御知ラセ
コノ度電話一三七番ヲ增設致シマシタカラ精々御利用下サル樣御願申上マス
平電話 一三七番(店舖) 三三七番(店舖)新設 二三七番(店主宅)
福島縣平市田町二番地
阿部石炭商店
阿部政右衛門

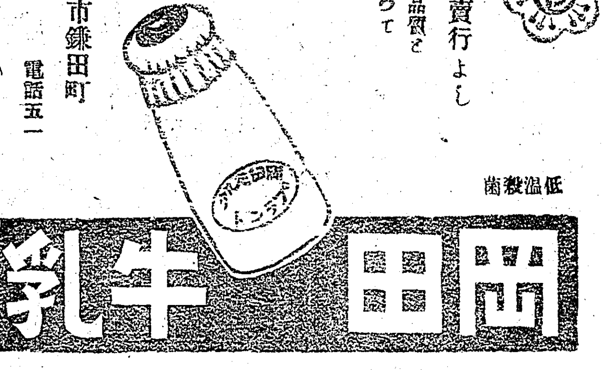
最新流行の
下駄と草履
ドコヨリモ安い
三井履物店
平南町 電話一八一番

五月人形賣出し
尚武日本に
尚武の節句!!!
銃後の護りは家庭から家庭の護りは見童愛護の精神から
勇ましい武者人形
鯉のぼり
甲冑具足類
御子樣の節句の飾を賑に行ひませう
平市四丁目
菅野屋肥料店
祝品部
(電話一五七番)

耳鼻咽喉科專門
醫學士 鈴木正男
平市田町(電話五八番)藤田女學校前
齒科口腔外科
日本齒科醫學士 鈴木政
内郷村高坂磐炭病院前
「入院のお需めに應ず」(看護婦及ビ見習看護婦募集)
鈴木醫院

新車のお知らせ
斷然!!! 乘心地良い!!!
最新型フォード
入庫いたしました。
是非!御試乘の程を!
市内四丁目
スズキタクシー
電二一七番

低温殺菌
岡田牛乳
斷然—實行よし
信用と品質と
共に備つて
平市鎌田町
電話五一



おでん、やき鳥
小鳥燒も初めました。
お酒のあとに
おけさめし
おでん 茶めし 酒の家
平市三田小路(三丁目裏)
味郷

萬病克服が何故保證出來るか
電氣の何倍もの力がある超短波也
故に着物の上から使用しても骨肉中の病菌は征服出來る品なり。
高血壓が一回の放射で血壓が廿下つた。泣く程痛い虫齒が十分間で止つた。十八才の娘夜尿症が二回で治つた。入院して癒らなかつた中耳炎が卅一回の放射で全快した。夜中胃ケイレンで困つたのが一回で安眠出來たと云ふ礎状が餘り澤山なので新聞には書けないが、どんな難病でも癒らないと思はないで、實驗所で實驗して頂ければ自の魂で癒せる事が判つて頂ける確信致します。
自の魂
適應症
婦人病 尿道病 糖尿病 心臓病 腎臓病 中風 高血壓 脚氣 動脈硬化 ゼンソク
胃腸病 肺病 ロクマク 肺炎 神經痛 ロイマチ 疾症 痔疾 カリエス ルイレキ 百日セキ ヒステリ
其の他慢性病
一週間で萬一治る見込のない時は返品自由。體を動かせない方には機械を御貸し致します御宅で御使ひ下さい。
機械は二十圓台より各種あります。地方の皆様のため平市に實驗所を設けました、遠慮なく相談實驗下さい。
超短波放射快癒機自の魂販賣と修理
自の魂平實驗所
平研町公園下(電呼)六五二

國民精神總動員……
日本國民・必見の書……
内閣情報部發行
寫眞週報
(1部10セン)
…お取次致して居ります…
(平2) 西村藥局 (電3)

醫學士 吉田久雄
吉田眼科醫院
平市紺屋町 電話六八番

勞務資源を總動員
銃後の增産に邁進
上旬中の送炭量激增

近來の地方各炭礦は稀有の人飢饉に惱まされ乍らも、勞務資源總動員の下に行はる銃後增産の大努力から一日平約七百車九千瓲見當の發送を續け、飛躍的の增加を示しつゝある。即ち云ふ一日以降十日迄の常磐各山元發送高は

產業用六、〇五一車七八、三〇八瓲　鐵道用一、一二九車一五、四〇六瓲　合計七、一八〇車九三、七一四瓲

で前年同期に比し產業方面で九百九十八車一萬七千三萬七十六瓲を激增してゐるため、鐵道用の赤字百二十七車三百六十四瓲を補塡し尚は八百七十一車一萬七千十二瓲と云ふ一日平均約九十車千七百除瓲の增を見せしゐる

平局收入 事務延伸

平局では明十五日から二十一日迄の百億貯蓄強調週間中、貯金、保險、年金の受入れ事務に限り、日曜日を除き每日午後五時迄時間を延長公衆の利便を圖ると

局大に張り込む
事變國債は昨日から 貯債は明日賣出し開始

昨十三日から賣り出された平局の支那事變國債は、割り當て約四萬圓中、豫約十圓券九二枚、廿圓八九、廿五圓一、百圓一二、五百圓六、千圓一五

合計二萬千九百二十五圓で之等の一部分を加へ昨第一日目の消化は

十圓二、廿圓六、廿五圓一、百圓三、五百圓五、千圓一〇

合計金額一萬二千九百六十五圓に上つた。尚は明十五日から賣り出す貯蓄債券は之亦五百六十枚（額面十五圓賣出し價格十圓）の豫約あり、局では大衆の愛國熱と貯蓄心に訴へより多くの賣り上げを目指し大に張り切つてゐる

第四生徒 害虫驅除

平第四校では市農會の依賴により此程尋四以上に青年學校女子部を加へ五百三名で苗代害虫驅除を行つたが補獲總數十八萬一千八十四匹、一人當最高千二百八十六匹、最低二十四匹近く市からご褒美が贈られる筈

乳幼兒檢診日割
平保健所で實施

平保健所管內七月以降の乳幼兒檢診日割左の如し（カツコ內は檢診場所）

△平市、舊平縣檢診豫定數一〇〇名七月一日（第四小學校）△高久一四五名二日（小學校）△玉川一二五名四日（同）△勿來五二〇七日、八日、九日（窪田小學校關田小學校）△夏井七六名十一日（小學校）△泉二五三名十三日、十四日（同）△錦一六三名十五日（小學校、吳羽人絹工場）△小名濱六〇〇名十四日、十五日、十六日（小學校）△入遠野二一〇名十七、十八日（同）△鹿島九七名十八、（同）△江名二五九名（廿一日、廿三日（江名小學校、永崎分敎場）△湯本八〇七名廿五日、廿八日廿九日、三十日（上町公會堂）△植田二四二名八月四日、五日（小學校）△上小川一〇六名八日、△下小川一〇八十五日（同）△好間六五〇名十一日、十二日、十三日（小學校）△三阪九七名十八日、澤渡三七名十九日（中三阪小學校、澤渡小學校）△磐崎三四九名二十五日、二十六日（尋常高等小學校）△田人外三ヶ村組合一八四名九月一日、二日三日（石住、貝泊、荷路夫、各村分敎場及田人小學校）△飯野一七六名五日（小學校）△箕輪五八名八日、永戸一〇六名九日（箕輪小學校組合役場）△豐間二一二名十二日（小學校）△上遠野二四九名十五日、十六日（同）△神谷一七七名十九日（同）△湯渡一一二名二十九日（同）川部八八名三十日（同）

狂女を賣る 惡質詐欺

棚倉町字城跡料理業君栗方で豫ねて周旋人の茨城縣瓜連町某外數名に酌婦の周旋方を依賴して置いた處小名濱町にあると電報により同町淸水旅館で問題の女宮城縣十三濱村生れ佐藤サキヱ（二八）を首實驗した上全く狂人と知らず二百四十圓で抱え込んでから始めそれと判り其筋に屆け出た、平署でも目下犯人搜査に協力中

案外殖えぬ所得稅
小額納稅者丈けの增加で 大局の影響頗る微弱

市、郡下一圓を管轄する平稅務署の今年度分第三種所得稅は此程一部の計數整理を了つたが、之によると

所得總額四百十三萬圓、稅額十八萬四千二百圓人員二千五百六人

で前年に比し所得は一割二分を增してゐるが、右は略ね小額納稅者の增加な爲め、累進課稅の性質上高額納稅者が增した程に稅額の影響無く稅額に就ては僅かに二分を增した丈けで人員九分五厘の增に釣り合はぬものがある。尚は軍需インフレの時局柄所得が案外に反映を見せぬのは從來の納稅者中杉山炭礦主の轉出及び個人經營だつた小田吉治氏の炭礦が法人に改組された外二三大處の轉出などがあつた結果であると

一年に千八百反
市郡下の絹織物生產高

質實剛健な時局意識から近來所謂『おかいこぐるみ』の奢侈贅澤と云ふものが大部減つて居るがそれでも此程纏つた昨年四月一日以降本年三月三十一日迄に於ける市郡下生產の稅務署統計によると絹織物千七百七十白四十六圓、縮緬六百七十六反三千三百九十一圓等がその主なるものであると

三反、價格六千五百九十四圓で稅金は價格の九掛たる五百九十三圓である。生產地は大体平及び植田方部で玉絹の八百三十九反二千三

濟南行車中から

六月一日北京着、北京の視察は一週間を要する由三日世界一の埋藏量を有する大同炭礦に赴き又同地は或る方面の重要地點の由に付視察の要あり、大同炭礦は目下三千噸以上毎日出炭しつゝあるも近き將來には一日七八千屯出炭計畫にて向三百年は採掘せらるゝ葉氏の說明にて有之五日北京に歸り既六日杉山最高司令官慰問し本職濟南、明八日〇〇に佐川〇〇官を慰問し上海南京漢口にて山田〇〇の許可を得て出向の豫定に候。皆々樣に宜敷

六月七日　野崎滿癜

家庭料理 けふの獻立

平保健所榮養指導員　成田君子

煮豆キャベツの炒め煮

黑大豆　三〇瓦約六十粒
煮干　二〇　五匁
キャベツ六〇　中葉一枚
油　六　一、六匁
計蛋白質一三、九瓦

溫量一九四カロリー

〔調理法〕キャベツは普通に切り油で炒め、煮干を入れ、砂糖、醬油で味をつける、豆は普通の煮豆をする、漬物を添へる

簡閱點呼日割決定
平市は八月十八、九兩日

今年度地方の簡閱點呼日割は左の如く決定、福島聯隊區から發表された（カツコ內は會場何れも小學校）

△平市（第一校）八月十八日第三、五各分會、神谷、十九日、第一、二、四各分會
△十六日（川前）川前
△十七日（下小川）上小川、下小川、赤井
△二十日（好間第一）好間、永戸、箕輪
△廿一日（澤渡）三阪、澤渡
△廿三日（內鄕村第二）內鄕〔本籍の者〕
△廿四日（同）內鄕〔入寄留者〕
△廿五日（湯本）湯本、磐崎
△廿六日（上遠野）上遠野、入遠野
△廿七日（田人）田人、石住、荷路夫、貝泊
△廿八日（勿來）勿來、川部
△廿九日（植田）植田、錦、山田
△卅一日（澁邊）渡邊、泉
△九月一日（小名濱）小名濱、玉川、鹿島
△二日（豐間）豐間、江名、
△三日（高久）高久、夏井、飯野
△十日（四倉）四倉、草野、大浦
△十一日（久之濱）久之濱、大久、大野

百億貯蓄奬勵座談會

明十五日からの百億貯蓄週間に際し市では十九日午後一時から公會堂日本間に市內行政區長、振興委員、市議、官衙長主任、學校長、會社工場長、銀行金融關係者、各種團体長、商工會、貯蓄組合長らを招き貯蓄奬勵座談會を開く外既報實施事項を印刷したチラシを各戶に配り「一億一心百億貯蓄」の趣旨を强調する

●。。●
島田氏から　御無沙汰してをります。山形屋の新會、御盛會なり！御やとすにて、大慶に存じます高久病院にては重ね、く〲の御不幸にて何とも御氣の毒に堪へません。小生、すつかり當家の生活になつて了ひ、忙しくあけくれてをります。御自愛祈上げます。

平市慶弔錄

△出生　本籍久保町湯本淀邊要氏六女和子さん
○婚姻　才槌小路仲武美一氏（二九）福岡縣糸島郡前原町藤原ヨシ子さん（三三）、東京市麴町區麴町四丁目稲村榮次郎氏（二四）白銀町北川マサノさん（三三）

十五日　【小名濱測候所觀測】
滿潮　前〇、二五　後一二、二〇
干潮　前七、四五　後七、五〇

陣中を聽く
(414)

二三日位歩いても 山一つない大平原

元入山從業員　元木正君（信）

徐州はこんな處です。青々として麥畑が果てしなく續いて居る大平野それは內地なぞでは何所に行つても見られない程果てしない廣い平野でそこには楊柳が繁る下小さな部落が二ッ三ッとそこかしこに見出され〻これが世界屈指の大平原徐州平原です、二日や三日歩いた位では山一ッ見えません、昔より此の平野を支那中部に有る平野と云ふ意味から中原と呼んで居るそです。此の中原の眞中にある小高い山々にかこまれて黃河にのぞんだ人口現存約十萬の都會です、地圖を開いて見ると江蘇省の北端山東及び安徽の兩省の近くに有ります。

都會としてはさ程大きいと云ふ程ではないが非常に惠まれた地形に有ります其の北方をながめる凡そ二十キロの眞北には百八十方キロの微山湖が西北に向つて横たわり其れに續いて獨山湖、南陽湖、馬場湖、東平湖なぞと云ふたくさんの湖が大運河によつて連結され遠く黃河に延びて居る北は鄭州に始まり白河を越え黃河を渡り山東省の南部より江蘇省を縱斷して揚子江に出てさらに揚子河を横切つて鎭江杭州寧波にまで蜿蜒として實に千數百キロに達し其の河幅は約三十米で、深さは六月より九月迄は增水期で四米十二月より三月迄は一米餘との事です人造工事としては萬里の長城と共に世界最大なるもので有ります、此の大運河が徐州の東北から東南方に流れて幾多の湖と共に徐州をどつしり守つてゐる樣ですさらに南方には淮河、渦河巴河、解河等の河川が幾筋も横たわり其の攻略を阻み實に徐州は惠まれた天然的陣形をなして居ります。しかも此處は隴海線津浦線との交叉する重要地點で徐州平野に產する米麥高粱玉蜀黍落花生水晶鹽等豐富な物資の集散地との事で有ります、今五月頃城內到る處に眞紅なバラに似た花が匂ふて一面に咲き誇つて居る、これは「メイワイホロ」バラの一種と云ふ花で支那では內地の櫻花の樣に此の花を酒や御茶の中に入れて愛用するとの事です。

新暦六月十五日　木曜
舊暦四月二十八日　癸未　先勝　除　井宿

諸判定應需　東京市本鄕區湯島四丁目　高島易斷總本部神誠館

▲一白　身の保養を第一とし進出は第二と心得べし▲二黑　一喜一憂變化常なき日たり進むは萬事危險▲三碧　人を輕するときは口舌爭論を招くことあり▲四綠　今日の地位に安んずるが尤も安全の策なり▲五黄　先んぜんとあせればつかる遲くとも地味が勝つ▲六白　努力增進する幸運日なり新規事業にもつとも吉▲七赤　往くとして可ならざるなき良運の吉日たり▲八白　思ふ所を通さんとすれば後援者に離るべし▲九紫　過大の望みを掛けず只平和を專一とすべし

アルバムでしたら
全國印
全國印アルバムの感覺
新鮮な圖案
全國印アルバムの堅牢な裝幀
全國印アルバムの嚴選せられた紙質等を實物に就いて御覽下さい
只今數十種入荷いたして居ります氣のきいた御贈答用品として好適です
全國アルバム　全國コーナー
特約店　魁文堂　電話313番

吸入用酸素
慶　純度99%

度量衡
モノサシ　マス　ハカリ
計量器
体溫器　寒暖計
秤ノ取締　錘糸・條繕致シマス。
關內藥局　電話四〇番

外科、內臟外科　エツキス光線科　新設　產婦人科
院長　安齋徹　醫學士　黑澤廣
入院隨意　平市田町
安齋醫院　電話四七五番

大藏省主稅局事務官　勝坂寶　序
日本洋服新聞社長　馬目長綱　著
洋服課稅早わかり　定價金三十錢
本書は今回政府が施行した支那事變特別稅法の內新たに洋服業者に課された稅法の「早わかり」を主眼としたものでその內容は衆議院皆稅委員會の討議に主材し更に大藏省主稅局長大矢半次郎氏、主稅局國稅課永見周藏氏等の手に依り原稿の推敲されたものであります、かくて政府の遂行せんとする意圖が完全に表現されたものと信ず
發行所　東京芝四國町五　日本洋服新聞社
取次所　合資會社　石島商會　平市白銀町一〇

ミシン
平驛前大通り（シンガー）
石川ミシン店
世界代表　シンガーミシン
日本代表　アサヒミシン
ニツポンミシン
コントロール
◎月賦販賣　◎無料敎授

此度組織を會社に改め營業の充實を圖ると共に統制下にある吾等は國策に順應して御得意各位樣に精々御便宜を計るべく社員一同努力仕るべく候間倍舊の御引立を御願申上候
鐵棒、平鐵、しやふと
鐵管、各種レール類
新品中古入荷仕り候間精々御注文相願度尙諸機械類各種取揃へ御來駕を御待申上候。　敬具
海軍工廠御用達
KS　合資會社　平銅鐵機械商會
平市鍛冶町九〔電話五二二番〕
電略（イ）又ハ（イ七）
振替東京一五七五二二番
倉庫　一平市鍛冶町卅三番地　一平市鍛冶町九番地

ほねつぎ
桑原柔道整骨院
平市公園下　電六七四

りんしつ病　こしけ病　專門藥
岩里別府淋藥　一週間分參圓（黑）五圓（赤）
痛みある病、熱ある病　岩里別府散　七包入五十錢　十五包入壹圓
製藥本舖　別府市　岩里天然堂
平市古鍛冶町一〇
代理店　阿康藥局　電話四十四番　振替東京三〇〇六五番